

第 17 回 向陽学府小中一体校開校準備委員会 会議概要

- | | | |
|---|----------------------|--|
| 1 | 開催日時 | 令和 7 年 7 月 22 日（火） |
| 2 | 開催場所 | 磐田市役所西庁舎 3 階 302～303 会議室 |
| 3 | 出席者（向陽学府小中一体校開校準備委員） | |
| | 学識経験者 | 元校長 元向笠地区長 |
| | 地区代表 | 向笠地区長
大藤地区長
岩田地区長 |
| | 保護者代表 | 向陽中学校 P T A 代表者
大藤小学校 P T A 代表者
向笠小学校 P T A 代表者
大藤こども園 P T A 代表者
向笠幼稚園 P T A 代表者 |
| | 学校代表 | 向陽中学校長
大藤小学校長
向笠小学校長
岩田小学校長 |
| 4 | 事務局 | 学校づくり整備課学府一体校グループ長 ほか 3 名 |

会議概要

1 委員長挨拶

皆さんこんにちは。暑い日が続きますけれども、今日は大暑ということで、快晴が続き、気温が日々に上昇していく時期を迎え、1 年のうちの最も暑いという時期です。まさしく暑い毎日だと思いますが体調いかがでしょうか。またこの暑い中、向陽中学の近くを通ると、いろいろ作業に取り組んでいる人たちがいらっしやいます。聞くと工事はほぼ順調じゃないかということで、御苦労さまです。またスクールバスのことについてはいろいろ細かなことにつきましても、教育委員会から今日お話があると思います。よろしくお願いします。

2 議事

(1) スクールバス説明会の報告及び今後のスケジュールについて

(委員長)

それでは議事に入りたいと思います。スクールバス説明会並びに今後のスケジュールについて、事務局から報告を頂きたいと思います。

(事務局)

開校準備委員の皆様には、既に前回の会議のときにはお伝えしていた内容です。

今回 3 日間の説明会の中で、保護者の方に説明した要点だけを皆様大体御承知の部分

もありますけれども、お伝えさせていただきます。大きく説明については4点、「乗降場所について」、「令和8年度からの運行について」、あと「スクールバスの使用や利用について」、「今後のスケジュール」を説明させていただき、全体の質問、あと会終了後には個別の相談会という形で質問を受けました。

内容についてはこの後に報告をさせていただきたいと思いますが、乗降場所については、当初の乗降場所と新たに乗降場所を追加したというところ、その理由も含めて説明をさせていただいた次第です。

乗降場所の設置基準というところで、この4月5月に御質問を頂いていました。どういった御質問かというと、先ほど、新規の乗降場所をお伝えしましたが、もう少しこういったところに乗降場所を増やしてもらえないかという、そういった声です。基本的に乗降場所としては私たちが管理できる場所ということで公会堂や小学校を利用していくというところ。そして、今後の乗降場所の追加変更については、朝は1便が向陽小・中学に到着した後、2便目として新規の乗降場所に行きますので、できるだけ私たちとしては乗降場所を効率的にしていきたいというところ。増やして用意していくことで、学校の運営にもやはり影響があるというところを説明させていただきました。ただ今後ですね、来年度、こういった形で進めていく中で、乗降場所の変更やルートの変更も考えなくてははいけないと思っています。令和8年度からの運行についてというところで、やはりスクールバスの利用料金について1番最初に御説明させていただきました。基本的にスクールバスの運行については、料金負担を頂くというのは磐田市の方針として打ち出しております。ただ、向陽学府については、開校後非常に不安定な要素も幾つか抱えておりますので、少なくとも令和8年令和9年の2年間については、無償という形で運行するというところをお伝えしました。今私がお話しした、不安定という部分については、例えばこの資料については、開校準備員の皆さんにはまだ、お見せしたことがなかった部分もありますけれども、敷地の拡張等を含め説明をしました。令和3年度計画ではありましたが、当初は、この今ある向陽中学校の敷地の中で、令和8年度の開校を進めていくことを市の方針としておりました。そのときの運営としては、令和8年度放課後児童クラブは現在の小学校の児童クラブを利用するというところ。そして、1番のところは職員の駐車場が今の仮設校舎のところと、テニスコートのところにありますけれども、実際に保護者の駐車場については、車椅子用の駐車場2台と、今後放課後児童クラブが敷地内にできたときに送迎に必要な10台ということで想定をしておりました。ですが、昨年度に荒天時の学校の登下校の様子を見ていると、かなり多くの方が登下校については車での送迎をされているという現状も確認しました。そういったところを見て考えたときに、保護者の駐車場が確保されていない学校運営というのが非常に難しいだろうということで、昨年度大幅な設計変更ということで、学校の東側の敷地を拡張していくという変更をさせていただいたところ。この変更によって、令和8年度開校後も工事が続いてしまうという現状が先ほど私がお話しした不安定な部分です。本来であれば、工事を全て終えて開校するのが望ましい。できるだけ不安を少なくしていくのが望ましいので、放課後児童クラブの建設

であるとかそういったところにとどめたかったところですけども、現実には、北側の道路を拡張することと、放課後児童クラブを建設することと併せて校舎の北校舎の一部を解体して改修すること、そして仮設校舎の解体、これが当初の令和8年度の工事計画でした。しかし、先ほどの敷地拡張の変更により、新たに北側道路からの進入路、バスロータリー、保護者駐車場、職員駐車場、バス駐車場という工事を開校後も行うことになります。ここが先ほどお話しした不安定な部分ですので、こういったことを鑑みたときに、令和8年度は非常に通学についてはスクールバスも含めて、なかなか安全した状況では使っていないというふうに考えています。そのため、令和9年度になってスクールバスの運行がやっと安定してくるだろうというふうに考えると、実際に保護者の方が利用されるかどうか。この東側には、保護者用の送迎の駐車場をつくっていきますので、スクールバスではなく、保護者の送迎で登校する形もあるかもしれません。そういったことを判断していただけるのは令和10年になるだろうということで、少なくとも向こう2年間については、無償でのバス運行をさせていただくということの報告をさせていただきました。そしてあとはスクールバスの仕様のこと、利用の規則、そういったところをお伝えさせていただきました。今後のスケジュールについても、この後、また説明をさせていただきたいと思います。主にこちらの4点について説明をさせていただいて、質問を受けたという形になります。ではそのときの説明会の参加人数であるとか、そこで出た課題であるとか、私たちが今後考えているスケジュール等について、担当のほうから説明をいたします。

(事務局)

今、説明があったように、スクールバスの説明会ということで、7月4日、6日、11日に開催し、それぞれ向笠地区、岩田地区の参加者が53名、大藤地区が87名、全部で約200人近く出席していただき、お忙しい中かなり沢山の皆さんに来ていただきました。その中で質問等についてはいろいろ出ましたが、大きいところで2点説明させていただきます。

1点目としては、登校時に向陽小学校・中学校に来て降りた子供たちが、どう安全に学校まで入るかという問題になります。帰りも同じで、特に南から北に向かって走るバスがB敷地で停まって乗る。北から南に向かって走ってくるバスがC敷地で停まって乗る。特にB敷地で乗り降りする子供たちが交番前の交差点を渡らなければいけない。そのため人だまりを設置し、自転車と歩行者の動線を分けます。また、学校のグラウンド南西角の交差点側のところに今4メートル幅で階段を設置工事しており、バスから降りた子供たちについては、横断歩道を渡ってすぐ敷地内のグラウンドの中に入るところで安全を確保していきます。

2点目としては、放課後児童クラブについては、1年間、それぞれ今の3小学校で運営が行われるため、そこに至るまで帰りのバスで対応します。徒歩で帰る、バスで自宅近くの公会堂まで帰る、児童クラブに行くという3パターンは、取りあえずそれだけでも考えられます。そのため、帰りはラーニングセンターで、利用者名簿、コードモンとかでバスがどこに走っているか、そちらのシステムのほうで話をしておりますので、なるべく安

全に安心できるような形で、システムを使いながら考えていきます。今後のスケジュールについてですが、お手元のほうに、手引きとしてマニュアルの案をつくりましたが、イメージとしてはこんな感じです。8月に、バスに乗る際の注意事項であるとか、あと乗降場所が分かるような資料を作っていきたいと思っております。説明会と終えたところで、現在、来年の新小学1年から、今の中学2年生の全児童生徒を対象に通学に係る事前アンケートというものを行っております。それが31日締切りで、現在のところ460名ぐらい協力していただいているので約50%以上です。その結果を踏まえた上で、8月に学校と会議して決めていきながら、10月に本申請をする。12月に利用決定することで、翌年の2月には保護者を含めてバスの乗り方シミュレーションの実施を考えています。このような予定です。

(委員長)

今事務局から説明がありましたけれども、お聞きして質問とか御意見等ありましたら、できるだけ出していただきたいと思います。どうぞ。

(委員)

結局、雨の日の送り迎えの場所はどこか。1年間はバスロータリーがなく仮設になる。来年1年目の保護者の送迎場所はどこになるのですか。

(事務局)

来年度の駐車場の使い方に関しては、今事務局のほうで案を出している段階でして、あと学校と調整しながら、最終的に決めていく状況です。案としては、隣地の購入した土地について整備工事を進めながら、先行して一部仮設の駐車場を整備していきます。使いながら工事していくため、時期によって駐車できる場所が移動していくことになる。調整が終わり次第、また皆さんにもお知らせできると思います。

(委員)

バスと一般車両の進入で妨げにならないか。

(事務局)

来年度は学校西側道路に接している土地を使って仮設ロータリーとするので、バスは進入しない。令和9年度には、北側道路を拡幅しているので交互通行できる。

(委員)

マニュアル案の留意点のところで「協力員」とあるが、これは協力員の方が乗ることになったのか。

(事務局)

とりあえずの案なので決まっていないが、動線を確保するために名簿を持って誘導するものであり、同乗はしない。

(委員)

とりあえずという話が多い。保護者としては、安全面が確保されているかが心配になる。本申請の際には、そういった所をきちんと決めていただいたうえで利用するかしないか判断したい。

(事務局)

承知しました。

(委員)

駐輪場はどこになるのですか。バスを降りたところからは、動きが重なりますか。

(事務局)

中学生の駐輪場は、今と同じで武道場の下になり、運動場西北の今と同じアプローチです。バスを降りた児童生徒や西から来た自転車の生徒には、仮設ロータリーの敷地にたまり場所を作りますが、交差点を渡るところは重なります。ただ、歩行者は運動場の西南の角に現在設置している階段を利用してすぐに敷地内に入るようになるため、そこから動線を分けています。

(委員)

そもそも、3キロとか4キロ圏内の人たちをバスに乗せるということで、特に低学年も安全に登校させるという判断だった。月額何千円となったときに利用し無くなれば、安全の課題が残っていることになる。何年か後に有料化されたとしたら、その問題は解消されるのか。危険だと思っているところを整備してくれるのか。

(事務局)

具体的にはこういった場所とかありますか。

(委員)

木が倒れてきたとかコドモンで連絡があったりするし、危ないって私は個人的には思っている。私だけでなく他の人も整備して欲しいって声を頂いている。歩道もない、歩いていくのは危険だよねっていう、そういうものとかも全部含めた上で、バスだったら危なくないという話だった気がしているのです。

(事務局)

そうですね。そういったことも含めての、バスの判断ではあります。今後のバスの有償化無償化については、また先ほど少なくとも2年間とお話しさせていただきましたけれども、ここも、本当に皆さんと一緒に協議していくところになってくると思っております。今お話が出てきた学校周辺の安全対策というのは、今やるべきことを私たちもやっていかなくてはいけないと思っております。例えば、仮設バスロータリーがあり、来年度は交通誘導員をつけるなどをしていきたいと思っています。先ほど出た向陽坂とかについても、もちろん地権者の方への働きかけというのは、今日この後で報告もさせていただくのですけれども、積極的にしていきます。ただ、全ての整備が整っていることを約束はもちろんできないものですから、そのことも含めて、スクールバスの運行については、令和8年、令和9年、それ以降についてこういった運行をしていくかというところも含めた協議というふうに考えています。協議に保護者ももちろん参加できる、そこは今こういった形でどなたと協議していくかというところは、まだ運行していないと見えてこない課題もあるので分らないですが、当然ながら保護者の方は入ってくるだろうと想像はしています。

(委員)

プールは無くてもバスで行かないといけない。通学も多くなる。ながふじに比べて、我慢させることがあると思う。更にバスも有料になるのか。私たちに何かメリットがあるようにしてほしいと親としては思っている。

(事務局)

それに負けないくらい良い学校にしていきたいと思っている。その思いは変わっていません。それをこの委員会の皆さんで作っていききたいということは、ずっと続けてきたことです。ご協力をお願いします。

(委員)

2点お聞きしたいと思います。先ほど令和8年の駐車場の利用の話が出たのですが、その駐車場に行くルートは、清水屋のところの道に行くというイメージでいいですか。その場合に、この前の現地確認の際の話では、何かルールづくりして駐車場に入る道を通るのか。もう一点は、先ほど保護者アンケートで集計しているところとのことでしたけど、自治会長さんたちは自分の地区の子がどのくらいバス通学を希望して、徒歩の子がどのくらいかって非常に皆さん気にされています。確実な数字ではなくてもこのくらいというのが分かった時点で頂けると自治会長も安心すると思いますのでお願いいたします。

(事務局)

駐車場の関係、これも事務局案の段階ですが、考えなきゃいけないのは、生徒児童の安全と周囲への交通渋滞を生まないというか、周囲になるべく迷惑かけないような運営をするってことです。まず、案としては、どの車も北から来ていただくことをイメージしています。北から来ていただいて、左折して、清水屋さんのところから入っていただくのが令和8年度のイメージです。出てくるときも、清水屋のところまで来ましたら、ここも左折していただくルールづけをしていきたいと考えています。令和9年度は学校の北西角から入るようになります。令和9年度に関しても、北から来て左折、出て行くときも左折、これはルールを徹底していただかないと渋滞を生まないような使い方にならないので、お約束していただいた上で大きな駐車場を送り迎えに使っていただけるということを考えています。この案がまとまりましたら、交通の規制も含めて説明会を予定しますので、また御参加頂きたいと思います。

事前アンケートの関係をお答えします。7月31日期限になっていますので、自治会のほうで多分お知りになりたいというのは、下校の時間かなと思います。

(委員)

通学路の整備の視点です。

(事務局)

必要であれば、8月の上旬にアンケート結果について提供をさせていただきます。

(委員)

1番早い子たちが7時30分から7時42分くらいで学校に到着する。その時点で学校はもちろん開けているわけですね。先生の勤務時間は何時からか気になりますけど。そ

の時点で誰がいるかいないかと把握するのか。それとも、各クラスに入った後に把握するのか、そういった点はどうか。

(事務局)

説明会でも説明させていただいたが、バスの1便は7時20分に出発して、早ければ30分には学校に着きます。担任等に対応できないので、支援員等がラーニングセンターについて面倒を見るという流れを予定しています。

(委員)

人数の把握はしますか。

(事務局)

その日の欠席は把握できていないので、人数は確認しない。

(委員)

何を心配しているか分かりますか。自分の子がバスに乗っていなかった場合に、親にはいつ連絡が来るのか。

(事務局)

これも説明会で話をしましたが、あくまでバスに乗車させるまでは保護者の責任でお願いしたい。出欠確認は、今と同じように各教室に入ってからです。

(委員長)

3箇所で説明会を行って、重い質問とか、気になっているようなものがあればお聞かせ願いたい。

(事務局)

各会場ともお忙しい中で、たくさん御参加頂きました。子供のことなので、やはり一番は安心安全面だと理解しています。

(2)向陽学府小中一体校の内装計画について

(委員長)

それでは次の議事に移りたいと思います。一体校の内装計画について、お願いします。

(事務局)

追加の資料を配付させていただきます。

それとは別に前回、図面を配付させていただいて、内装等について御質問がある場合はということで、メール等で御連絡頂きありがとうございました。資料を御確認ください。内装計画について、向陽学府小中一体校のコンセプトですけれども「日本一優しさが育つ学校」です。令和2年より、本会の前身である「向陽学府新たな学校づくり検討会」において、校舎の基本構想や基本計画について協議を重ねて、現在その実現に向けた建設工事を進めています。今までの協議や、このコンセプトに基づいた内装計画が具体的な形で出来上がってまいりましたので、本日は、委員の皆様にご確認頂きたく、配付させていただきました。

前回配付した図面をもとに委員の皆様から頂いた質問を中心に、新しくできる学校の

特色や、これからの学校像について説明いたします。不明点などは御質問ください。今日の会の目的としては、来年度からの学校の姿をぜひイメージしていただきたい。今までの学校の姿とはかなり違ってきていると思います。聞きなれない言い方や言葉もあります。魅力ある学校とはどういったものなのかっていうことだと思っています。ただ建物だけでは、学校には命は通っていませんので、先生方と子供たちを通して共につくっていく部分と、私たち行政が支えていく部分、地域や保護者の皆様に支えていただく部分、そこがあって学校に本来の輝きが出てくるものと思っています。今日はその姿をイメージしていただくために議題にあげさせていただきました。

今回の説明が8月25日に予定しているモックアップ見学会にもつながっていきます。同日は1エリアではありますが、児童生徒が実際に学ぶ教室を見学頂きます。それからちょっと次回へのつながりもあるということを御理解頂いた上で、説明のほうを進めてまいりたいと思います。それでは、頂いた質問を中心に説明していきますので、よろしくお願いします。

(事務局)

向陽学府小中一体校の建設工事を担当から説明します。

○ランチルーム

まずは、ランチルームの特色について、前回の図面の中から御質問を頂きました。1階の北東のところにランチルームがあります。この役割とか、特色、そういったものは一体どういうものなのかという御質問頂きましたので、まずそこについて説明をしながら、今日配付した資料をご確認ください。

ランチルームの作り方としては、地域の交流等に配慮したランチルームと併設した調理室ということで、全体が完成する令和9年度には、この北側の既存校舎の改修も終わります。ここの間が縁側モールという名前になります。設計の意図としては、ここで地域のイベントなんかが開かれたときにストリートにしながら、地域の集う場所をつくりたいというものです。北側に大きな窓をつくって開いた形にしており、ここで食事などをつくって提供するみたいなことも考えておりますし、みんなの家とのつながりとか、災害時にもここで何か食事を提供できるようなことを考えている場所になります。広さは教室より広いスペースがありますので、学年ごとに食事をとったり、縦割りのクラスで食事をとったり。全校生徒というわけにはいかないですが、集会をしたりといった使い方ができるような場所です。特徴としては調理室と一体となっているということです。ながふじ学府一体校では独立していますので、併設しているのが向陽学府での特徴の一つとなります。資料では、床が黄色だったりするのですが、実際に最終決定したのが緑色でタイルは1番左側のほうに置いてある床材になります。また後で手にとって見ていただければと思います。全体的には、木材を使った椅子とテーブルで、静岡県産材の家具を配置して、落ちつきのある空間になる予定です。

○学年コモンズ・交流コモンズ

「コモンズ」という言葉、なかなか聞きなれない言葉かなと思いますけれども、これは入会地とか共有地というような意味がありまして、交流や多様な学習に利用されるような学年コモンズ、これ教室が各学年3教室を想定しまして、その教室の廊下の向かい側にこういった結構大きなスペースが用意されています。これがこの学校の大きな特徴で、市内にはこういったところを持っている学校は少ないです。ここで学年ごとの学習活動とか、展示とか交流などに使われることをイメージしています。資料を見ていただくように、天井には通常だと張りの下に天井板が通常貼られているのですが、新校舎は天井が貼られていなくて、電気の配線とかエアコンの配管とか、換気扇ダクトが見えるようなつくりになっていて、建物全体の学習の教材となるようなことをイメージしてつくられています。交流コモンズは、1階の職員室の前の階段を上ると正面に2階と3階にあります。ちょっと天井が低くなってカーペットがあり、ゆっくり視線を落として落ち着けるような空間をイメージしています。

○ラーニングセンター

知的好奇心が生まれるラーニングセンターというのを目標につくられまして、建物の1階の中心、昇降口を入った正面につくられます。ここを中心に、交流や学習を進めたいというのが狙いです。この場所には、心地よく長い間いて頂きたいというのもありまして、木質化を積極的に進めてですね、天井とか本棚に木材を使うぬくもりのある空間を演出しております。利用頻度を高くしたいため、こういった開かれた場所に図書室として、あと学習コーナーもあります。くつろげたり、バスの待ち時間でもここを使いながら、いろんな学年、いろんなクラスの児童生徒が交流していけるような場所として提供していきたいと思っております。

○普通教室

黒板ではなくて、ホワイトボードを今回採用させていただきました。教室内の空気の循環の話ですが、この熱交換型の換気システムを入れていますので、エアコンをかけた状態で窓を開けなくても、窓を閉めたままでも熱を交換しながら必要な換気ができるので、衛生的で快適な空間をつくることができます。天井には、化粧吸音石膏ボードということで、音の衝撃を弱めて、広がらないつくりになっています。廊下側のほうは、こちら木質化ということで、材料は今日展示していますが、木の枠でガラスがはまっているような、柔らかい感じの印象を持っているような素材を選んでいきます。もちろん照明器具はLED化されています。ロッカーに関しては、資料を見ていただければと思いますが、一つ一つのロッカーのスペースが横長で幅が61センチ高さ26センチということで、かなりの荷物を収納できるような形になっています。仕様に関しては、掲示板の種類とか色とかを今再検討しているところですので、写真とイメージが変わってくる部分が出るかもしれませんが、一応こういったイメージで、8月25日の見学会のときに1部屋を完成した状態で、こんな感じかとみていただきます。何か良い提案を頂けたら、取り入れるこ

ともあるかと思いますが、しっかり見ていただきたいと思います。

○その他の内装コンセプト

1年生から9年生の児童生徒が生活する中での何か工夫はというところで、屋内階段を3か所設けております。大きな施設になりますので、どこの階段を使っていこうとルート案内する際に、色分けをするということで、階段の色が黄色と青と緑にして案内ができるように、アクセントカラーを変えています。この色の選び方は、緑色が大藤小学校のイメージで、お茶の色を採用しています。黄色は向笠小で、稲穂のイメージ、これが学校のテーマカラーのオレンジ色をイメージしています。岩田小は、青色で、校歌の中に天竜川や海が出てくるところから青色のイメージをしています。学校の敷地内全体でアプローチとなるようなところの床面で下足と上足を切り分けることで、下足の部分を向陽中イメージカラーのエンジ色を使ったり、職員室とか書いてあるサイン、あと敷地内の案内看板などでエンジ色を使いながら、もともとの学校のイメージをどこかに残していくようなやり方をしています。

資料に屋内運動場とありますけれども、体育館について、給食室の上の2階が体育館のスペースになるわけですが、床はビニールの床シートで、これは体育館用のスポーツシートというものですけれども、新素材で公式なバレーボールとか、バスケットボールの会場でも使われているものです。ここの特徴としましては、3階の層になるところにぐるぐる回れる回廊があり、部活で走れるようなスペースにしています。外で運動ができないときに走るということも想定しています。またここは、エアコンを設置することが決まりました、メインの既存の体育館のほうも来年設置される予定になっております。

最後にトイレです。今、市内の学校でトイレが古いということで、昔よく床がタイル張りで水で洗うみたいなトイレがずっとあって、においがするというので、乾式化を進めています。

1階の保健室の前のトイレになるのですけれども、みんなのトイレ1の1というところに和式便器が1個あります。みんなのトイレ1の2に、多目的トイレとしてスペースが広いトイレになっています。全体的には、ちょうど今日、色を現場で打合せしたところですが、清潔感のあるような色で仕上げていきたいと思っています。残りの便器に関しては、洋式便器になりまして、先ほどのみんなのトイレの1の2と職員トイレに関しては、ウォシュレットが付いていますが、ほかの部分に関しては暖房便座で対応しています。廊下からは、設計のときになるべく中が見えないようにということに配慮して壁の位置とかを調整しながら設計しております。大分見えにくくなったと思いますので、プライバシーに配慮したかたちになっています。和式トイレが何でまだ1個あるかというところなのですが、当初トイレの改修工事を始めていく中で、小学生中学生からアンケートをとった中で、特に中学生に多かったのですけれども、知らない人が座った便座に直接座りたくないという生徒が中にはいます。それが1か所残す理由になっていますけれども、ほとんどの児童生徒の方は、洋式でないとできないという児童も圧倒的に多いです。

今日、実際に使われている建築材料等も御用意しておりますので、ご覧頂ければと思います。

(委員長)

御質問をいただければと思います。

(委員)

2点お聞きしたいです。かなり前にワークショップでこうあったらいいなという、小学生の方たちからも一緒に話ができて、すごく楽しい時間を過ごさせてもらった経験がある。そのときも話題に出ていたのが、特別支援の部屋の配慮っていう部分が話題になっていて、多分今回かなり配慮されていると思うので、その話をお聞きしたいです。もう一つ、豊田北部小学校のもそうだったのですが非常に教室がきれいなガラス張りで、先生とお話した際に掲示場所は少ないっていうお話があった。子供たちの作品を飾る場所がないっていうお話があって、階段とかを使ってかなり工夫されて掲示していたので、きれいな教室なんですけど掲示する場所ってどのくらいあるのかお聞きしたいです。

(事務局)

特別支援教室ですが、1階の南西側に小学校の特別支援教室が5室あります。この特徴としては、特別支援学級で最大8人が学ぶ教室になるのですが、この中で落ちつきを取り戻さなきゃいけないときにはカームダウンスペースを設けて、カーテンで仕切れるようなところがあります。カーテンは当初設計が一つだったのですが、もう一つ付けようと考えているところです。そこで閉じた空間で心を落ちつかせる空間をつくったり、あと家具のほうでカームダウンハウスというのがあって、閉じこもって落ち着けるような空間を配置することを考えています。床は黄色なんですけど、もうちょっと落ち着く青系を使わないのかって話が出まして、そこはカーテンによって青系の色を考えています。また、特別支援に通う子たちだけが占有で使える、お手洗い、洗面、トイレが準備されています。小学校の特別支援に限りますが、入り口からすぐ入れたり、保健室が隣にあったりっていうようなところで考えて配置されています。中学生は3階の北側に特別支援学級が5教室配置されています。こちらでも同じカームダウンコーナーを設けて、サテライト職員室が特別支援学級の前にあります。トイレは共有にはなってしまうのですが、なるべく近い位置に配置しています。

掲示ですが、内装計画を教育部長、教育長、市長に説明して確認をとっていたところ、その中でもやはり掲示場所が足りないじゃないかって話は出ました。どういうふうに掲示場所を増やしていくかは検討中ですが、壁面もそうですが、立体的なものを設けて展示するとか、そういった展示スペースを特別に今も計画しているのがまず一つの特徴です。資料には、廊下に「マグネット塗装で掲示」と書いてあるのですが、磁石の具合を確認したところ接着が弱いので、シールで貼るような検討をしています。学年コモンズの壁を同じように貼れるようにしようかと考えています。コモンズの使い方としては、つい立てのような形で、掲示スペースを増やすことも使い方の一つとして考えていまして、た

だ、建物の壁という限界がありますので、コモンズ全体に掲示するときにあってもいいと考えています。教室の掲示に関しては、基本的にはロッカーの後ろ側に掲示する。先生方にお話聞くと、教室の掲示は主に年間目標とか、長く掲示するものが多いらしく、壁面にとめるような掲示スタイルを想定しています。これ以上掲示スペースはあまり増やせないかなと思いますが、今検討中であり、なるべく増やせるようイメージしています。

(委員)

掲示については、先生方がなるべく脚立が無くても貼れるように考えてほしい。

(事務局)

貼れる壁の素材がいろいろでして、コンクリートのところもあれば、下地が石膏ボードのところもあって、同じように扱えないと非常に扱いにくいというの也有ります。ながふじでもコンクリートの壁に貼っている小さな丸いシールがあるのですが、そういったものを使うのが1番強度と自由度が高いということで、そういった壁面を増やそうとしています。なるべく掲示できる壁面を増やすことで、高さを取らなくても掲示できるようにしたいというのが一つと、先ほどお話ししたパーテーションを置いて掲示ができるかなと思います。

(委員長)

すいません。予定時刻も過ぎていまして、私も聞きたいことが数点あるのですが、多分皆さん方もこういう具体的なことをやるというんな御質問があると思います。とりあえず今日はこの辺で、PTAの方は先生に言ってくればいいし、個別にメールで学校づくり整備課に問い合わせいただいてもいいです。御意見や声を、何らかの形で届くようにしていただく形をとって、この後報告と連絡事項もあるものですから、協議の時間はこれまでとして頂きたいと思います。何かあれば遠慮なく言ってください。私の議事進行は以上とさせていただきますと思います。事務局お願いします。

3 報告

(1)制服について

(事務局)

ありがとうございました。また来月の予定の見学会の中で、当日でも御質問頂ければと思います。それでは、報告に移りまして、はじめに制服について委員から御報告がありますのでお願いします。

(副委員長)

資料は、ホームページ等でも上げているものですがけれども、3月末に制服のほうが磐田市内で共同で決まりましたので、それに合わせて附属品、ネクタイ・リボンをどうするかということで、アンケートをとらせてもらいました。時代の流れからするとクールビズとかで、必ずしも無くても良いのじゃないかという意見が大変多かったです。そういう中でも、学校の中では一応指定という形で、現在子供たちのほうで、付けも付けなくても、買っても買わなくても個人の判断という形にさせてもらって、セールス関係なしで自分で

選べるような形でやっていく予定です。材質についても、今の制服に付けばオーケーという形で、いろんなパターンを資料に掲載しています。いくつか男女いろんなパターンで、自分の判断でできるような形になります。それから、制服の移行期間です。資料の表にありますけども、令和8年度の入学生から猶予期間としてお下がりも活用できる形で、新旧ある形のスケジュールで、移行期間としますので承知してください。最後に、着装規程ということで、子供たちと一緒に話し合いをしながらルールを変えているのですけれども、現段階でこのような形になっています。子供たちの意見を大事にしていきたいと思っています。以上です。

(事務局)

ありがとうございました。次に、先日実施しました、一体校周辺道路の現地確認について、学校づくり整備課から報告させていただきます。

(事務局)

特に資料はございませんが、7月16日に学校づくり整備課、道路河川課、3地区長、学校の校長、教頭先生方に半日お集まり頂いて、これは向陽中学周辺の道路の現地確認をしました。その中で、今年度いくつか対応をし、補修や安全対策をとっていくところを決定しました。そういった現地確認をさせていただいたことを御報告させていただきます。

(事務局)

ただいまの報告事項2点。特に、この場で何かありましたらいかがでしょうか。では、連絡事項に移らせていただきます。

4 連絡事項

(事務局)

今後の予定ですけれども、8月25日月曜日に、午後2時半からモックアップ見学会ということで、一体校の普通教室1室を御確認頂きたいと思います。当日の駐車場につきましては、向陽中学校のテニスコートの隣の駐車場に車を置いて頂いて、校舎のほうまでお越し頂ければと思います。持物については、事前に二次元コードを読んで頂いて御回答頂いていると思いますが、その中でヘルメットをお持ち頂ける方については持参をお願いします。服装については、工事現場の中入っていただきますので、長袖ということで、暑い時期にはなりますので何か羽織れるものを御持参頂ければと思います。

次回の第18回開校準備委員会につきましては、9月30日火曜日、時間は同じ6時半からということで、こちらの会場で予定をさせて思います。通知につきましては、また改めて発送させていただきますのでそちらでまた御確認を頂ければと思います。

5 閉会

(事務局)

以上で、第17回向陽学府小中一体校開校準備委員会を終了したいと思います。本日はどうもありがとうございました。